

謹賀新年



発行
天理教本愛大教会

〒453-0821
名古屋市中村区大宮町 1-60
TEL (052) 461-4326
FAX (052) 461-4320
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町 19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広報部

春季大祭執行

1月13日
午前10時

本愛大教会

立教183年

立教183年 年頭あいさつ

本愛大教会長 安藤 正治

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年はそれぞれのお立場の上でお力添えを頂きまして、本当に有難うございました。

令和元年は、親神様のご守護を肌身にかけて、それに対して「ご恩報じ」を少しでも実行させていただこうという思いで、共々通らせていただきたい一年でありました。

本愛大教会は、来年6月20日(日)に六代会長就任奉告祭をつとめさせていただくこととなりました。今年から、それに向かつての新たな活動を推進していく所存です。新しい時代とともに、それぞれが大きく変化をして、成人をする機会だと考えております。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

年頭所感

大教会長後継者・安藤吉人氏に聞く

昨年10月まで、青年会本部の委員長を1期3年間務めさせていただきました。

本当にこの3年間は学びの多い時間でした。楽しいこともたくさんありましたが、悩むことも多くありました。そのたびに、本愛の方々に支えていただいたと感じています。本当にありがとうございます。ありがとうございました。今は何とか御用を勤め上げることができたことに、ホッとした気持ちでいます。

高校から大学、天理教校本科研究過程とおちばで学ばせていただきました。青年会本部での委員時代も含め、おちばで学んだことは、大きく三つあります。

一つ目は、「お道の現状について」です。直属や系統にかかわらず、たくさん教会に足を運び、たくさん現状も自分の目で見させていただきました。しかし、厳しい状況ではあっても、自分次第でどんなこともで



委員長として臨んだ青年会創立百周年記念総会で登壇する吉人氏

きる、自分の心に矢印を向ければ希望を感じることができると気付きました。

また「教理の現代語訳の必要性」を感じたことも大きな学びの一つでした。めまぐるしく変わる現代社会の中で、教祖の御教えをどうしたら分かってもらえるのか。教語を使わずに「現代語」で伝える努力が、これからはより重要になると感じるので。

最後は、「伏せ込みの大切さ」です。おちばで伏せ込ませていただいた時間がないければ、今の自分はないように思います。

ただ、振り返ってみると、

いつでも教祖が先回りして導いてくださる、いつでも教祖と一緒にいたいことに気付き得たことが、何より大きな学びだったと思います。おちばを離れて生活する今、そのことをより強く感じます。

さて、お道にはたくさん課題があります。挙げればきりがありません。しかし、こうした多くの課題を解決していかなければならぬという思いだけは、誰よりも強くあります。これから私自身がおたすけに動き、その中でたくさんの声や意見に耳を傾け、それらを実行していきたいと考えています。

そのためにも、今後は大教会につながる方々一人ひとりとコミュニケーションを増やしていきたいと思っています。

そして、世界に向けて発

信力を強め、まだお道にながっていない人もどんどん巻き込んでいきたいと思っています。

2020年は、東京オリンピックなど、日本が世界の一員であることを意識する年になると思います。

私の今年の目標は「世界おたすけ」です。とにかく「人おたすけ」に力を入れていこうと思っています。

決して目新しい言葉ではないかもしれませんが、けれども、2020年の1年間で、何人の方に心から「おたすけ」と言っていたか、おたすけか、その一点に焦点を絞っていくつもりです。

そのためにも、まずは自分の周囲で何が起きているのか、どんなことで困っている方々がおられるのか、さまざまな社会問題に目を向けながら、挑戦を繰り返していきたいと思っています。

(談)

ご存命の教祖につとめ一条を誓う

1月26日、本部春季大祭に挙って参拝を

立教183年の春季大祭が、今月26日に本部で執行される。

つとめを急き込まれて現身をお隠しになられた、教祖の思召に思いを致し、挙っておぢばへ帰り、参拝させていただこう。

教祖は、親神様の思召のままに、一れつ人間の心を澄まし、陽気ぐらしへと導く道をお教えくださり、

50年にわたるひながたの道をおつけくだされた。明治20年陰曆正月26日。教えを開かれた元一日の縁

大教会からの巡教月が変更になる。

本年より、大教会からの巡教の日程が変更される。と変更される。

その内、1月、4月、10月は、各教会の世話人の巡教となる。

昨年までは、直屬教会への巡教は、1月、3月、4月、6月、7月、9月、10月、12月と、年8回行われていた。今年からは、1月、2月、4月、7月、10月、6月、7月のいずれかで

の日に、教祖は現身の寿命を25年縮めて、そのお姿をお隠しになられた。ご自身の身上を台として、おつとめの勤修を厳しく急き込まれた教祖。一れつ子供をたすけたい一心で

おつとめを望まれた教祖の温かい親心を偲んで、今年も1月26日に春季大祭がおぢばで勤められる。親里には、ご存命の教祖を慕って、全国各地から大勢の人々が参拝に訪れる。春季大祭の开幕式は午前11時30分。大教会でもこの日、近鉄電車による総合団参の実施が予定されている。



大祭には本愛につながるよう、よく信者やおぢばに帰らせていただきたい。そして親神様とご存命の教祖に日頃の御礼を申し上げ、たすけ一条、つとめ一条の心を定めさせていただこう。

婦人会創立の日 1月28日

婦人会員は勇んでにをいがけに励みましょう

1月のこよみ

元旦祭	1日 午前5時
よふき会初例会	2日 午前10時
本部お節会	5日～7日
女子青年初例会	5日 午前8時30分
教会長年頭連絡会	12日 午後1時30分
青年会初例会	12日 午前10時
こはる会初例会	12日 午前9時
春季大祭	13日 午前10時
布教実修所	14日 午前9時30分
むつみ会初例会	16日 午前10時
本愛こども会ニコリンピック	19日 午前9時
学生会初例会	19日 午前9時
婦人会初例会	20日 午前10時
本部春季大祭	26日 午前11時30分
春季大祭総合団参	26日
婦人会創立記念の日	28日

教理随想

言わん言えんの理を探る



昨年(令和)という新時代が始まり、即位の礼や祝賀御列の儀など、新天皇陛下即位に伴う行事も無事につとめ終えられました。一年を通してふり返ってみると、ラグビー日本代表の活躍など明るいニュースもありましたが、相変わらず暗く悲しい事件や事故も多かったような気がします。

崩壊する家庭、増える犯罪と虐待、また東アジアの情勢もまだまだ先行きが不透明で不安を感じずにはいられません。こうした時代にあつて、お道の信仰者はどういう心で日々を送ればよいのでしょうか。教祖はおふでさきの中で、

にんげんの心とゆうハあざのふて みへたる事をばかりゆうなり (三一五)

このさきハみへてない事だんくくと よろづの事をみなといてをく (四一八)

親神様の深い思召がこめられていきます。それは人間を励ましてやろう、喜ばせてやろうとの思いから、うれしい出来事をお見せくださることもあれば、時には心使いの反省を促すために、身上や事情に障りを見せられることもあります。教祖はこれを「節」とお教えくださいました。樹木にたとえれば、折れてしまうのも節なら、新しい芽を吹くのもまた節からであります。つまり起きてきた節を、

を正面から受け止める姿勢が肝腎です。そしていかなる中も教えを目標にして毎日を送る。この努力を続けることが、やがて「節から芽が出る」ご守護へとつながるのであります。

■節と旬

「節」とはいえ人間は、身上や事情という節に出遭いたくないというのが偽らざる本當の気持ちでしょう。できることなら苦しい身上や辛い事情に悩むことなく、健康で円満な人生を歩みたいと誰しも思うものです。実は親神様もまったく同じお気持ちであります。そこで親神様は、この先に私たちが通るであろう身上や事情という節を、旬の御用に切り換えて、辛く苦しく険しい道を通らなくてもいいように導いてくださっている。このように旬の御用を悟るのが、真のようほくのあるべき姿であります。

【第61回】 神の思召に焦点を合わせ おたすけの日々を歩もう

既報の通り本愛大教会では、およそ一年半後の令和三年六月二十日に六代会長就任奉告祭が執り行われます。これが今の本愛ようほくに与えられた旬の御用であります。おふでさきに、

たんくくとこのみちすじのよふたいハ みなハが事とをもてしやんせ (七一四)

と示されるように、奉告祭を我が身・我が家の出来事と悟ってもらいたい、と教祖は急ぎ込んでおられます。この喜びの旬に、ようほく一人一人は親から受け継いだ信仰を台としていんねん自覚を深め、この先の節を大難から小難に切り換えていただけるように、親の心に沿うおたすけの日々を歩んでいきましよう。それが将来楽しみみの道を味わうための「旬の種まき」であります。

「世界たすけへの挑戦」決意を胸に抱き

青年会本愛分会 台湾研修を実施

青年会本愛分会では11月22日から1泊2日で台湾研修を行った。青年会員7名が参加した。

早朝、中部国際空港セントレアから出発した一行は午前10時頃、桃園国際空港に到着。そこから本愛慶心教会がある新竹市へ移動した。日中の気温は24度を超え、半袖でも汗ばむ気候の中、台湾伝道庁管内のひのきしんデーで使われているベストを着用して、本愛慶心教会を拠点に清掃ひのきしんを実施。海外での活動という独特の緊張感のも

と、青年会の基本方針「世界たすけへの挑戦」を胸に、勇み心いっぱい新竹の街で、ひのきしんに汗を流した。

翌日は台北市内の史跡や文化財を巡るなどして、台湾の歴史、文化を学んだ。



本愛慶心教会を拠点にひのきしんに励む一行

春の学生おぢばがえり

3月27〜28日で実施

今年も3月28日におぢばで「立教183年春の学生おぢばがえり」が開催される。

式典は本部中庭で10時から行われる。また、前日の

27日には東西泉水プール前広場を会場に前夜祭が催される。

本愛学生会でも動員目標を定め、3月27〜28日の1泊2日の日程で団参を計画している。

学生生徒修養会

大学の部・高校卒業生コース 参加者募集中

今年の「学生生徒修養会大学の部」が3月3〜9日の日程で親里で開催される。内容は講義、グループワーク、にをいがけ、修練、ひのきしんなど。期間中に別席を一席運ぶことができ

る。また、「学生生徒修養会高校卒業生コース」が3月10〜12日の日程で開催される。詳しくは本愛学生担当委員会までお問い合わせを。

◆各会初例会案内◆

女子青年―5日

午前8時30分

大教会集合後、本部お節会に合わせて初団参を行う。

こはる会―12日・午前9時

大祭準備ひのきしんの後、親睦会を開催する。

青年会―12日・午前10時

大祭準備ひのきしんの後、ネットを介した講演会「ウェブセミナー」を開催する。講師はフオス、ベトナム、セネガルで教育支援を行っている渡辺道治氏。

むつみ会―16日・午前10時

おつとめ・よろづよ八首をつとめた後、大教会長より挨拶を頂く。その後、会食が予定されている。

少年会―19日・午前9時

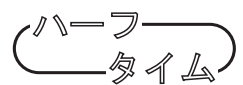
日吉小学校にてニコリンピックを開催する。参加申し込みは1月12日まで。

学生会―19日・午前9時

ニコリンピックのひのきしんをつとめる。

婦人会―20日・午前10時

おつとめ・十二下りてをどりをつとめた後、大教会長より挨拶を頂く。その後は会食が行われる。



新年の食卓を華やかに彩ってくれるおせち料理。

元々は、季節の変わり目である五節句の祝儀料理全てを「おせち料理」と呼んでいたが、後に正月の節句料理だけを指すようになった

▼それぞれ料理に願掛けがされているが、その中でも「長寿」の願掛けが効いてきたのか、時代は「人生100年時代」に突入した。ある研究では、日本で2007年に生まれた子供の半数が107歳まで生きると推測される。これは一見喜ばしいことではあるが、裏を返せば「貧困でも病気で100歳まで生かされる時代」ともいえる▼そんな時代には、資産形成と生涯現役で働くためのスキル、人脈づくりの重要性が高まるだろう。将来、長寿の願掛けだけは遠慮する、という時代が訪れないことを祈るばかりだ。

第98回教人資格講習会

修了者

(令和元年12月11日付)

本今村 鶴田 浩孝
以上1名

本心 11

本道橋 6
本枇杷島 2
以上20名

11月の初席者

11月のおさづけの理拝戴者

本鈴鹿 北田 元紀
以上1名

本名 辻田 悠菜
本心(本誠愛) 西村 祐紀
”(本心春) 井戸田和代

10月の中席者数

(11月20日提出分まで)

本心 4 以上4名

本道橋

” 松下 愛実
中村 洋

11月の中席者数

(12月20日提出分まで)

本海部(本海門) 立木千鶴子
本金山 渡辺 貴子
” 渡辺 菜月

事情おはじび
(令和元年12月26日付)

本桑名分教会

◎任命願

前会長・山本道信氏の
辞職に伴い、山本治行氏
が会長の理のお許しを戴
いた。



山本治行氏

(山本氏の略歴)

昭和45年7月25日生まれ
平成2年11月3日おさづ
けの理拝戴
平成3年11月29日教人登録
〔奉告祭〕令和2年3月22日

本今村 黒田 理子
本愛岳 阿部 史歩
” 阿部 富香
本愛勢 高橋 成爾
以上15名

本宝浦分教会三代会長

山田士郎之霊の一年祭

本宝浦分教会では12月15
日午前11時より、三代会
長・山田士郎之霊の一年祭
が、大教会長を祭主として
同分教会で行われた。

若いお父さん・お母さんへ

家族ぐるみで

教会へ参拝しましょう

婦人会・青年会・少年会からの提唱



大教会日誌

令和元年11月25日~令和元年12月24日

11月

- 26日 本部分次祭
- 28日 ほんあいOKEIKO
- 30日 常任役員会議◇役員会議
青年会例会

12月

- 1日 入社祭
祭主・大教会長 扨者・田中新一、山神茂彦
指図方・板山公司 賛者・出口邦郎、山本正太郎
◇おたすけ講話一種田孝男
◇教会長連絡会
- 2日 よぶき会例会
おつとめ・十二下りてをどり、連絡会
- 13日 月次祭
祭主・大教会長 扨者・佐藤正成、杉村善男

- 指図方・出口道男 賛者・坂倉敏男、安井 篤
◇祭典講話一出口雅美
◇大教会長挨拶
- 14日 布教実修所
- 15日 本愛こども会
- 16日 むつみ会例会
- 17日 こども食堂MOGU (参加者44人)
- 18日 ほんあいOKEIKO
- 20日 婦人会例会
- 21日 女子青年例会
こはる会例会
学生会例会 (22日まで)
- 22日 雅楽勉強会
- 23日 修養科志願者面接 (於・大教会)
- 24日 おはなし会